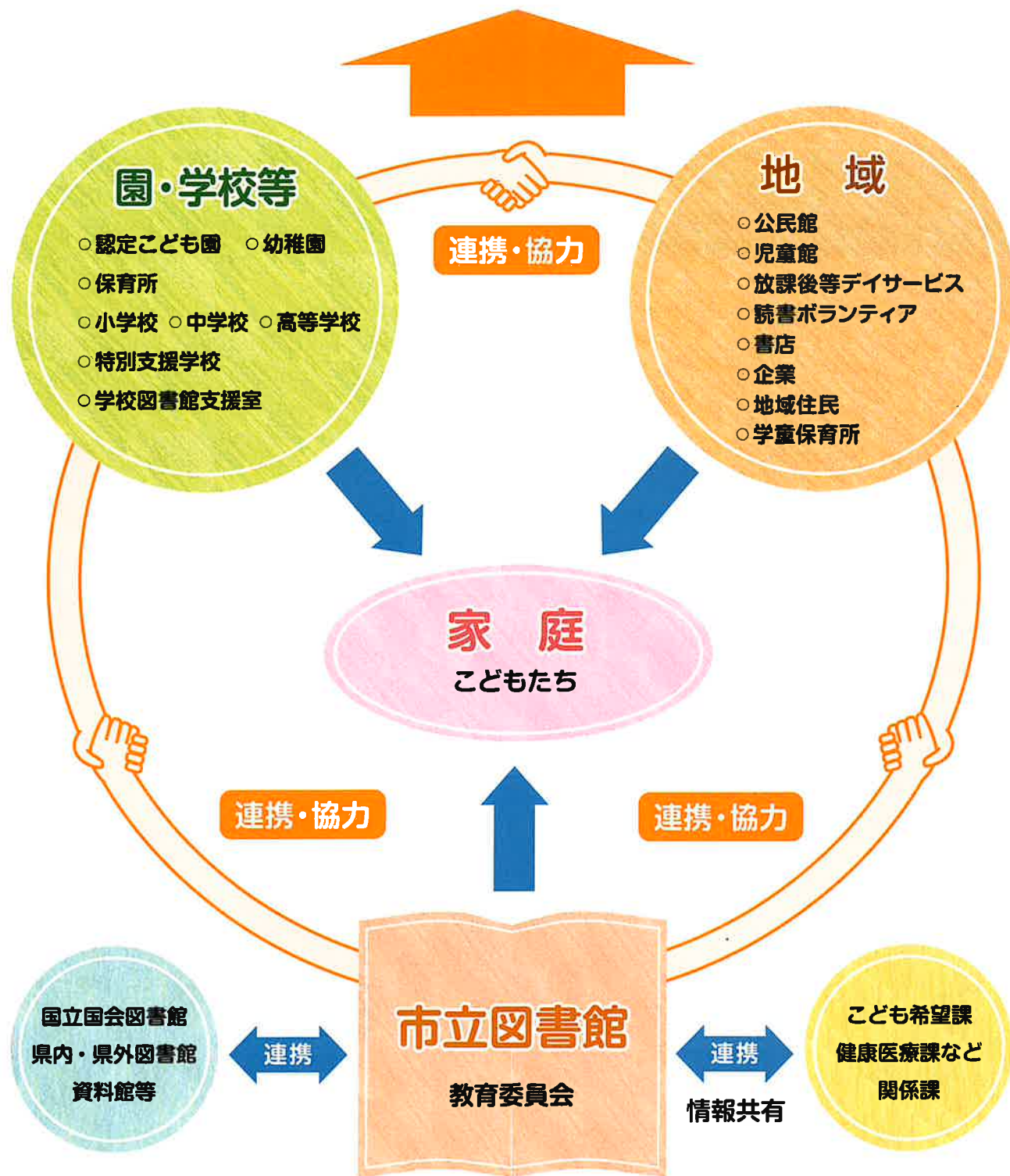


# 掛川ほんわかプラン 計画の構想図

目指す未来の子ども像

「生きる力」を付け、  
「持続可能な社会の創り手」となる子ども



掛川市子ども読書活動推進計画（第4次計画）概要版

令和3年度（2021）年度～令和7年度（2025）年度

本輪架

# 掛川ほんわかプラン

～広げよう 読書の輪 つなげよう 心の架け橋～



## 基本方針

- 1 家庭・地域・園・学校・市ほか関係施設が連携し、子どもがいつでも、どこでも本に出会い、「生きる力」を身に付けるための施策を積極的に展開します。
- 2 施設・設備等を充実し、本に親しむ環境づくりに努めます。
- 3 未来を担う子どもの成長に欠かせない読書活動の重要性を、広く保護者や地域住民など子どもに係わる全ての人への普及啓発に努めます。
- 4 「持続可能な社会の創り手」の育成のため、資料の収集、展示、情報発信等に努めます。

「本が大好き！」そんな子どもたちがいっぱいになるようにとの願いを込めて、掛川市は令和3年3月に「掛川ほんわかプラン」（第4次計画）を策定し、家庭・地域・学校が連携し読書活動の推進に努めています。



# 掛川ほんわかプラン体系図

## 計画の対象

対象は、新生児から高校を卒業するまでの概ね18歳とします。  
読書は、言語能力を高め、感性を磨き、想像力を豊かにし、読解力、表現力、論理的な思考力、コミュニケーション能力を高めることにつながります。子どもたちが読書を通して「生きる力」を身につけるために、家庭・地域・園・学校・市など、子どもに関わる全ての人や施設が連携、協力して子どもの読書活動の推進を図っていきます。

●お母さんなど、身近な人の声が聞き分けられる

- 右脳、左脳が刺激され脳が活性化する
- 喜怒哀楽、共感性など感情がゆたかになる
- 音読で語感が磨かれる
- 絵本を通じて五感を磨く
- 言葉や知識が増える
- 想像力や感性が身に付く
- 本の楽しさ、おもしろさに気付く

- 集中力が付く
- 気持ちが落ち着く
- 思考力が磨かれる
- 知識が増える
- 想像力がゆたかになる
- 読書を通じて家族と共有する時間が増える

- 知識欲、研究心が旺盛になる
- 読書が楽しくなり、読書の幅が広がる
- 心がゆたかになる

- 問題解決能力が身に付く
- 知識や話題が豊富になる
- 心が癒やされる
- 読書が人生の活力になる（楽しみ、生きがいのための読書）
- 読書や講座で得た知識を子どもや親へ
- 読書体験を子育てに活かす



本の楽しさを知る読書活動

本に親しみ本を活かす活動

自分をより深め磨く読書活動

本の楽しさを広める読書活動

3歳までの経験がその後の人生を作る  
～3つ子の魂100まで～

- 母子手帳配布時の啓発活動
- 「おなかの赤ちゃんとはじめての絵本」
- おなかの赤ちゃんへの読み聞かせ、声かけ

6ヶ月児  
●「こんにちはえほん」

2.2ヶ月児  
●「こんにちはえほん」フォローアップ事業

- 調べ学習
- 移動図書館

- 地域文庫
- 連携施設での出前講座

- 「ヤングアダルトコーナー」(中高生向け図書コーナー)の設置
- 高校生インターンシップ
- 中学生キャリア研修

●読書ボランティアグループ

●「文学鑑賞講座」「歴史講座」「手づくり講座」など各種講座

●図書館活動グループ



### 様々な場面でのよみきかせ

家庭・各種健診時・認定こども園・保育園・幼稚園・保育所・子育て支援センター・図書館 など

### 家読(うちどく)

親子で読書の時間を共有する  
親子で本を紹介しあう  
親子で本について話す  
親子で朗読しあう

- 朝の一斉読書
- 読み聞かせ・ブックトーク



## 第4次計画の基本的な考え方

第4次計画では、これまでの計画の成果と課題を踏まえて、国際的な開発目標となっているSDGs「持続可能な社会」実現に求められる「持続可能な開発のための教育(ESD)」に資するため、進むべき目標を「読書を通して「生きる力」を付け「持続可能な社会の創り手」となる子どもを育成する」と定めます。